

ウェイン・クロザース：自己紹介

ウェイン・アンドリュー・クロザース*

ウェイン・クロザースと申します。オーストラリアのメルボルン出身です。学部ではグラフィック・デザインを勉強し、1980年代前半は、広告・デザイン業界で3年間働きました。日本美術への深い関心から、1984年に日本を訪れました。文化的に興味のある地域を数ヶ月旅した後、京都にある寺の一室を借り受け、そこで一年半生活しました。この間、実験的な木版画20枚のシリーズを制作し、1985年10月に寺町通りのギャラリーで展示しました。日本を離れた後5ヶ月ほど中国の史跡を巡り、芸術活動を続けるためインドネシア経由でオーストラリアに帰国しました。

1990年代初頭にインドの史跡を5ヶ月調査した後、陸路でパキスタンに入りシルクロードを通じて最終的に上海に到達し、そこから船で神戸に向かいました。2度目の日本滞在中は、京都精華大学で2年間研究生として過ごし、現代の版画制作における古典的技法の可能性について研究しました。滞在の終わり頃に東京の多摩美術大学美術研究科修士課程への入学が認められ、さらに2年間研究を行いました。修了時には、世田谷美術館やオーストラリアのいくつかのギャラリーで卒業制作の発表を行い、これらの作品は第64回日本版画協会および第8回フィンランド国際版画ビエンナーレで一等を受賞しました。

1990年代後半、シドニー、キャンベラ、メルボルンに住み精力的に制作活動・発表を行い、シドニー美術学校やオーストラリア国立大学でゲスト講師も務めました。1998年北海道に移住し、札幌芸術の森スタジオでアーティストとして活動。2000年代初め、スペイン・マヨルカ島のピラルル・イ・ミロ財団より3度の招聘を受けレジデンス・プロジェクトに参加し、大型の木版画を制作・展示した他、ワークショップも開催しました。2000年からは東京に戻り武蔵野大学で6年間教えました。この時期、東京でスタジオ・アーティストとして活動に励みながら、伝統的な版画技法の今日的な可能性を模索し、インスタレーション、アーティストブック、ビデオ作品などを制作。これらの作品は定期的に日本や国際版画ビエンナーレ、トリエンナーレで展示されました。広く旅を続け、ジュール美術館（ハンガリー）、3D美術館（Meseo De Arte Tridimensional）（メキシコ・シティア、メキシコ）、四川美术学院（中国）、オ

ーストラリア国立大学（キャンベラ、オーストラリア）、エングラム（ケベック・シティア、カナダ）、ラファイエット・カレッジ（ペンシルベニア州、アメリカ）など数多くの場所で国際的なアーティスト・イン・レジデンスに参加したり研究を行いました。

2009年からオーストラリアに戻り、ビクトリア国立美術館（The National Gallery of Victoria [NGV]）に新設されたアジア美術（特に日本美術）担当キュレーターのポストに就きました。NGVはオーストラリア最大最古の美術館です。1860年代から日本美術の作品の収集を行い、国内最大の非常に充実した日本美術コレクションを形成しています。キュレーターとしての私の仕事は、日本の歴史的・現代的なテーマを扱った企画展の制作、日本美術の作品の定期的な展示替え、マルチメディアそしてビデオによるプレゼンテーションを通じた教育的かつインスピレーションな展示体験の創造、日本関係のテーマについての文章の執筆・（書籍、定期刊行誌、インターネット上での）出版、コレクション内の日本美術の作品の題名および帰属の調査・特定、新規収蔵品の研究・整理、日本関係のテーマを扱ったパブリック・プログラム、講演、ラジオ・インタビュー、メディア・プレゼンテーションの実施、そして保存・修復担当との連携を通じた高いレベルでの作品管理を行うことです。

キュレーターになって最初の3年間の私の主なプロジェクトは、新しい日本ギャラリーを作ることでした。そのためには、現在の美術館コレクションの内容の把握、新しい作品の推薦・購入、首尾一貫したギャラリー・デザイン、日本美術の歴史や近現代の様相を一般のオーストラリアの人々に伝えるための展示ディスプレイの構築が必要でした。2012年10月、NGVの新しい日本ギャラリーがオープンしました。日本美術に特化したギャラリーとしてはオーストラリア最大となります。

2009年以降に私が企画した日本やアジアをテーマにした展覧会は、「Tea and Zen」（2010年）、「In the Steps of the Buddha」（2011年）、「Bushido: Way of the Samurai」（2014年）、「Negoro: Medieval Japanese Lacquer」（2014年）、「Takahiro Iwasaki: Reflection Model

*ウェイン・アンドリュー・クロザース（オーストラリア国立ビクトリア美術館キュレーター）

(Itsukushima)」（2015年）、「Bamboo: Tradition in Contemporary Form」（2016年）です。現在準備中の展覧会は、オーストラリア初の大規模な葛飾北斎展（2017年7月）、「Buddha's Smile」（2017年6月）、そして2018年後期から2019年初めにかけて開催予定の「Japanese Modernism」です。



The National Gallery of Victoria (NGV) was established in 1861, 26 years after the foundation of Melbourne. Soon after the first Japanese pieces entered the collection.

ビクトリア州国立美術館(NGV)は、メルボルン市ができてきた後26年後の1861年に設立されました。NGVの日本の美術のコレクションは設立後すぐに始まりました。

1



2

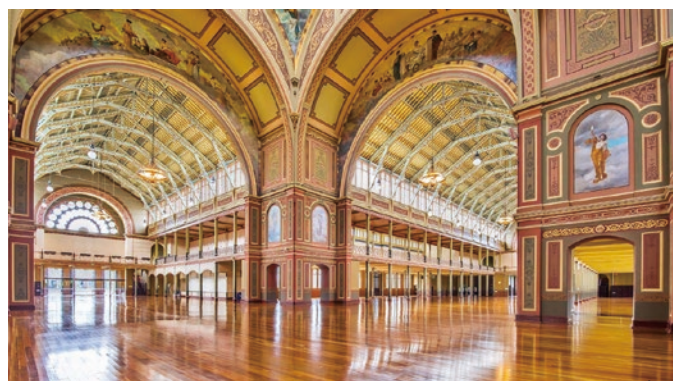


Melbourne stages International World Exhibitions in 1880 and 1888. The Japanese government has a major display and numerous Japanese works enter the NGV collection.

世界万博が1880年と1888年にメルボルンで開かれました。この展覧会には日本政府の多大な協力で数多くの主要な日本美術を展示することができました。これをきっかけにして日本美術品の収集が始まりました。



3



4



Acquisitions from the 1880s
Armour (yoroi), lacquer ware, paintings (Sasaki Sengen), bronze ware, musical instruments, satsuma ware



1907 and 1909 The NGV acquires a large collection of Ukiyo-e prints and screen by Tawaraya Sotatsu screen.

多くの浮世絵木版画の収集と俵屋宗達の屏風の取得は1907年から1909年にかけて盛んにおこなわれました。



6



1950s, around the time of the Melbourne Olympics the NGV acquires several major Japanese artworks. Hagetsu Tosatsu, Jizo Bosatsu, Amida Nyorai
特にメルボルン・オリンピックのあった1950年代は主要な日本美術品を取得をしています。



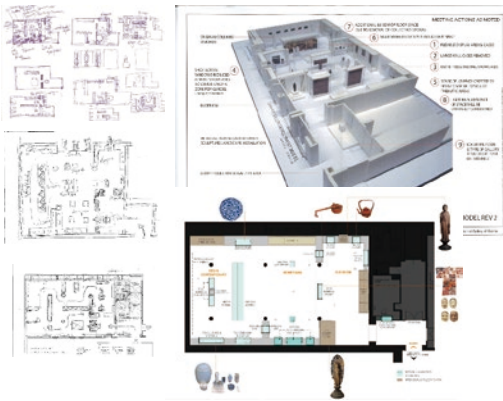
7

In 1968 the NGV established a new building to house its international collection. Japanese artworks are exhibited along with other Asian pieces.



1968年に当館が国際コレクション専用の新しいビルを建てたとき(現在の位置)はそれの中で日本の美術品はアジア・ギャラリーの一角に展示されていました。

8



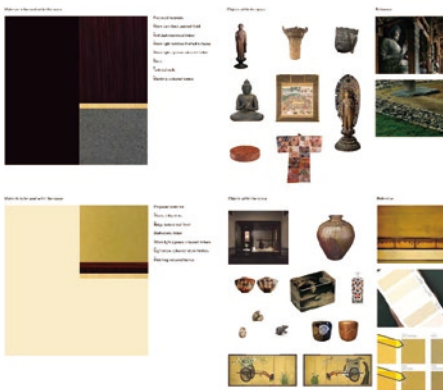
In 2009 the NGV employs the first curator of Japanese art and starts work on establishing a dedicated Japanese Gallery permanent exhibition space and expanding its Japanese collection.

2009年には日本美術品を専門的に理解して、収集できる日本美術専門館長・キュレーターを迎えてこれまでにないほど真剣に日本美術分野の発展に取り組んでいます。

9



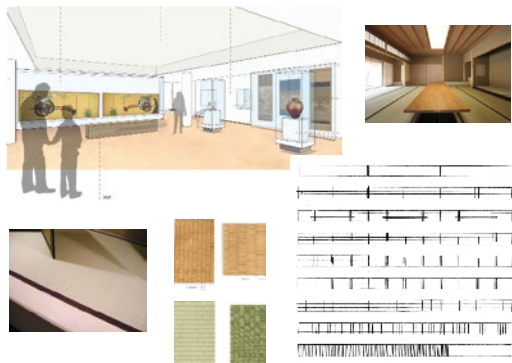
10



11
Colour palettes



12



13



14



Hokusai manga multimedia

北斎漫画マルチメディア

15



16

2010 Tea and Zen, special exhibition



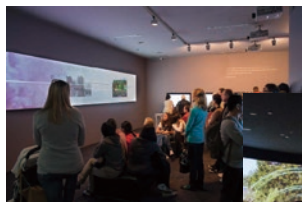
2010年には画期的な展示会“茶&禅”を催しました。

17

Every year the NGV holds two or three major exhibitions and between 15 and 20 smaller exhibitions.

NGVは毎年二つか三つの主要でスケールの大きな展示会します。それに加えて15から20個はスケールは小さいが興味のある展示会を催します。



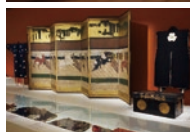
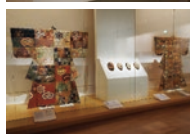
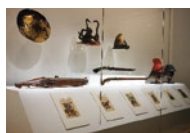


展示会の時は特にマルチメディアを使ってヴィジターに展示されてる作品を見てもらいます。マルチメディアを使うと見る人にとっては非常に理解しやすい。

In these exhibitions multimedia presentations are a major component of audience engagement and an educational component of the exhibition.



19



2014 The exhibition Bushido: Way of the Samurai we created and interactive multimedia presentation of one of the armour on display. It featured the armour details, description of parts, x-rays and the armour is constructed.

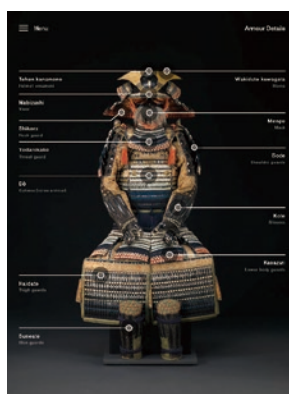


2014年に行われた展示会”武士道”では、鎧の一個は相互作用の機能を利用できる。マルチメディアを使って日本の鎧の内部の詳細と部分の名前や、またどうやって鎧は作られたかをレントゲンを使ってみるひとの興味を深めました。

20



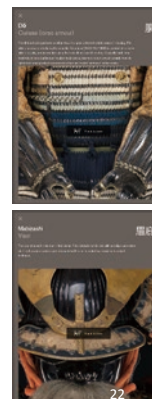
21



2014 Bushido: Way of the Samurai Armour multimedia



武士道 展覧会マルチメディア



22

2014年の”根来—日本の中世の美”の展示会の時は三保美術館より”根来の歴史”というビデオを借りてビジターに見せることができました。



2014 Negoro: The beauty and rustic ambience of medieval Japan exhibition
A video on loan from the Miho Museum on the history of Negoro.



23



2016 Mingei exhibition

2015 民芸展覧会

24



2016 *Bamboo tradition in contemporary form* exhibition
Historical video on the working practice of the early twentieth century bamboo artist Iizuka Ryokansai

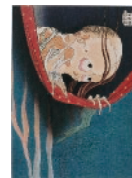
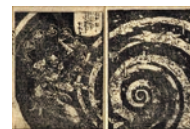


2016年の画期的展示会“伝統的竹の美から近代的な美”では、20世紀初期の竹アーティスト・飯塚稔かん斎の作品完成までをビデオをマルチメディアとして使ってみました。

25



Major current projects are an large exhibition on Hokusai
Opening July 2017



最近では来年から始まる主要展示会“北斎”に力を注いでいます。26

Constructing a collection and exhibition on Japanese Modernism of the Taisho and early Showa period (1912-1940). Currently searching for appropriate multimedia for this exhibition.



またもう一つ、1912年より1940年までの大正時代と昭和初期にかけての日本のモダニズムの作品の収集と展示会を大事な目標設定としております。この展示会のための適切なマルチメディアを探しています。



27